

農 大

令和5年8月29日発行
愛知県立農業大学校

令和5(2023)年度版



だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2
Tel : 0564-51-1601 Fax : 0564-51-4831
E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



作物専攻

CONTENTS

- 1 専攻紹介 作物専攻
- 2 新1年生入学して思うこと (後半)
- 3 専攻トピックス
- 4 クラブ紹介 (茶道部、軽音学部、卓球部、フットサル部)
- 5 研修紹介 (農福連携支援研修)
- 6 トピックス
オープンキャンパス、日進市農業委員会の視察研修
- 7 研修生OB紹介
- 8 お知らせ
令和6年度入学者選抜試験

愛知県立農業大学校
公式HP



SNS

Instagram



Twitter



専攻紹介

作物専攻

作物専攻は、14名（1年生9名・2年生5名）の学生が、1haの大規模水田を含む9枚のは場、計3.3haの水田で水稲・小麦・大豆の栽培・販売実習を行っています。

水稲では「コシヒカリ」、「あいちのかおり」を始め「ミルキークイーン」や、化学農薬及び化学肥料を使用しない栽培方法で作ったお米など、様々な品種や方法での栽培技術を学び、大切に育てたお米は直売で販売しています。

大きな面積の栽培に適したスマート農業の実演も行っており、農機メーカーと協力して、自動運転田植え機、農業用ヘリやドローンの実演も行っています。また、PFコンバイン（水分・収量・品質を確認しながら収穫できる）も導入し、最新の農業を学ぶことができます。

最新の技術に触れながら、食糧生産の根幹を担う作物栽培を学ぶことができるのが作物専攻の魅力です。

4・5月

新学期早々、苗の準備と田植えで忙しくなりますが、遊び心を忘れず楽しく実習に取り組みます！

1ha水田での直播栽培播種



6・7月

田植えが終わって一段落…と思いきや機械の実演や校外学習、マーケティング研修を行います!!



8・9・10月

熟期の異なる多彩な品種の収穫が約2か月間続きます。今年の新米の出来はどうか？

【水稻栽培品種】

コシヒカリ・ミルクークイーン・あさひの夢・愛知135号・あいちのかおり・愛知糯126号・こはるもち・夢吟香・つきあやか

今年初収穫！美味しい新米をどうぞ！



11月以降

収穫後は次作に向けた水田の準備を行います。ロータリ・プラウ・レーザーレベラー・ハローといった様々な機械を駆使します!!

直売で新米を販売！



その他の活動

校外学習で試験場や農業法人、味噌や酒造メーカーを訪問し水稻・小麦・大豆の栽培や加工について学んでいます。また、県外学習で他県の作物生産について学んでいます(R3北海道、R4宮城県)。

また、加工演習として、豆腐・味噌・五平餅作りや餅つきを行っています。作った五平餅や切り餅は農大祭でも販売します。



土壌分析



加工演習で餅つき！



収量調査



校外学習で試験場を訪問！

特集

2023新入生 農大に入学して思うこと(後半)

2023年度に入学した新1年生から、各専攻一人ずつ、「農業大学校に入学したきっかけ」や「卒業後の進路」などを聞いてみました。7月号と8月号に分けて紹介します。

《新1年生》

長縄 慎介【鉢物・緑花木専攻】…県内農業高校出身
石川 稜【切花専攻】…県内農業高校出身
岸 昂太【作物専攻】…県内農業高校出身
首藤 理杏【果樹専攻】…県内普通高校出身
遠藤 飛鳥【露地野菜専攻】…県内農業高校出身
田中 快【施設野菜専攻】…県内普通高校出身
中村 花和子【酪農専攻】…県外普通高校出身
高橋 鼓太郎【養豚・養鶏専攻】…県内普通高校出身

Q 農業大学校に来てよかったところは？

●長縄 慎介【鉢物・緑花木専攻】

友達と四六時中一緒にいるので自宅よりも楽しい。
通学の時間がなくなったので、朝の時間に余裕ができました。

●石川 稜【切花専攻】

直売をやることで地域の人たちと関わることができることや、実習が多いので体力をつけることができます。

●岸 昂太【作物専攻】

愛知県の農業を学ぶ機会が多く、他の農業高校出身の学生や農業後継者の学生と交流ができるところです。

●首藤 理杏【果樹専攻】

実習が多く、農業の事を深く学べるところが良いと思います。

●田中 快【施設野菜専攻】

寮生活です。寮生活であっても、自分のやりたいことはできます。近くにイオンタウンもあるので食べ物に困りません。

●遠藤 飛鳥【露地野菜専攻】

毎週水曜日、農大で行う直売で、お客さんの声を直に聞けるところです。「この間買った野菜が美味しかった。」と言われた時に頑張って育てて良かったと、達成感を感じます。

●中村 花和子【酪農専攻】

専攻実習の時間が多く、一日中牛と触れ合えるところです。報連相が必要不可欠なのでコミュニケーション能力が上がります。

●高橋 鼓太郎【養豚・養鶏専攻】

僕は普通科校出身で友達もおらず先輩にも知り合いがいない状況で不安でしたが、養鶏という1つの作業を通じて友達ができ、先輩とも上手く関われるようになり、学校生活を楽しめているところです。



Q 専攻実習はどんな感じですか？

●長縄 慎介【鉢物・緑花木専攻】

高校の時よりも、自分で自由に決めて、やりたいことができます。

●石川 稜【切花専攻】

農業高校では、施設野菜を専攻していましたが、農大では何も知らない切花専攻にはいりました。初めはすごく不安だったけれど、先輩や先生から優しく教えてもらえるのがすごく楽しいです。

●岸 昂太【作物専攻】

専攻内の学生は仲が良く、農作業が好きでやっている学生、面白く楽しく場を明るくする学生、知識の豊富な学生もいて実習もうまくできています。

●首藤 理杏【果樹専攻】

私は普通科出身で農作業をしたことが無いため、全ての農作業が新鮮で楽しい。もちろん大変さもありますが、実践を通して学べるため有意義に感じています。



●田中 快【施設野菜専攻】

施設野菜専攻は担当のハウスが分かれています、チームワークは抜群です。「今日、午後休講にしよう」をモットーにトマト、ナス、メロン、スイカなどの収穫出荷や管理を各自で行い、自分のハウスが終わるとほかのハウスを手伝いに行きます。

●遠藤 飛鳥【露地野菜専攻】

先生の指示を受け、自分で考えて動くため自主性が身につくと感じます。また様々な野菜の栽培、収穫方法を学ぶので、とてもやりがいがあります。

●中村 花和子【酪農専攻】

基本生徒主体で作業をしていて、体調が優れない牛の治療や飼料の配分などを自分たちで考えるので責任感が身について、とても良いと思います。



●高橋 鼓太郎【養豚・養鶏専攻】

畜産の幅広い基礎的な事から養鶏という1ジャンルの専門的な事から幅広い事を学べます。色々な作業をこなして行くのは新鮮で楽しいです。先輩や先生がわかりやすく教えてくれるので作業もスムーズに覚えることが出来ました。

Q 卒業後の進路をどのように考えていますか？

●長縄 慎介【鉢物・緑花木専攻】

まずは、農業法人へ雇用就農し、いずれ独立自営就農したい。



●石川 稜【切花専攻】

J Aなど農業関係の職業に就きたいと思っています。

●岸 昂太【作物専攻】

まだ決まっていませんが、農大での実習を経験し、農家のもとで働いてみるのもいいかなと思っています。でも、いずれは、独立自営就農したいと考えています。



●首藤 理杏【果樹専攻】

雇用就農を経て独立自営就農をしたいと考えています。特にぶどうの作業が好きなので、ぶどう農家になりたいと思っています。

●田中 快【施設野菜専攻】

明確な進路はまだ決まっていませんが、農大の学生生活を通じて、更に学びたいこと、就いてみたい仕事、やってみたい活動を探しながら、じっくりと考えていきたいです。

●遠藤 飛鳥【露地野菜専攻】

愛知県の公務員試験を受け、農業総合試験場に就職したいと考えています。



●中村 花和子【酪農専攻】

まだ詳しくは決まっていません。とりあえず、お金を貯めてやりたいことをやりつくしてからいずれは酪農家か、引退馬など様々な動物の保護施設などで働きたいと考えています。



●高橋 鼓太郎【養豚・養鶏専攻】

まだ農業という一次産業業界に触れて間もないので、まだあまり詳しく考えていませんが、卒業後は愛知県の企業養鶏に勤めたいと考えています。

専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	8 (2)	5 (1)	9 (2)	15 (5)	14 (7)	15 (3)	15 (6)	10 (3)	91 (29)
2年	3 (1)	7 (2)	5 (1)	10 (0)	15 (7)	13 (3)	9 (6)	8 (4)	70 (24)
計	11 (3)	12 (3)	14 (3)	25 (5)	29 (14)	28 (6)	24 (12)	18 (7)	161 (53)



牛の赤ちゃんが生まれました！

7月はベビーラッシュでホルスタイン1頭、交雑種が3頭産まれました。

4月に入学したばかりの1年生も夏休みからはほとんどの管理作業を任せられ日々頑張っています。分娩対応もそのうちの1つで、特に今月最後の分娩はほとんど1年生で対応することができました。

来月は派遣実習が始まります。農大で学んだことを土台にいろんなことを吸収してきてほしいです。



豚舎の改修工事が始まりました！

農大の豚舎は、母豚や雄豚を飼養し種付けを行う繁殖豚舎と分娩や子豚を育成・肥育するシステム豚舎の2棟があります。2棟の豚舎のうちシステム豚舎は建設から30年以上経過し、老朽化が目立ってきましたので、今年度リニューアルするために改修工事を行うことになりました。改修工事は、屋根の葺き替え、天井の張り替え、柵の塗装などかなり大がかりなもので、10月中旬には工事完了できる予定です。リニューアルとはいえ真新しい豚舎で管理できることが今から楽しみです。





水稻の収穫スタート!!

作物 いよいよ稲の収穫シーズンが始まります。8月21日に「やわ恋もち」から収穫がスタートしました。鳥害を受けたりや台風で倒伏しているほ場もありますが、出来は上々です。これから新米シーズンに向けて準備を進めていきます。美味しい新米を楽しみにしてください。



果樹専攻の直売が大盛況♪

果樹 果樹専攻では、7月から8月にかけて果物の販売がピークを迎えています。

毎週水曜日の直売では、ブドウやナシ、ミカン、イチジク等を学生が主体となって販売しており、2年生主導のもと、それぞれ役割分担をして販売しています。多くのお客様にご購入頂いており、「新鮮で完熟なものは美味しい」と好評を頂いています♪販売は10月いっぱいまで続きますが、果樹専攻の主力品目であるブドウは9月中旬までの予定です。お買い逃がしのないように、美味しい夏を満喫してください♪



鉢花・緑花木

シクラメンの葉組が始まりました！！

鉢緑専攻では、シクラメンの葉組が始まりました。シクラメンの葉組は中央の葉を外側に整える作業です。葉組を行うと株元に日光がしっかり届き、新芽の成長促進や病気の予防に繋がります。今は夏休み期間のため、当番の学生と少しずつ進めています。





猛暑の中の定植作業！！

夏休み期間ですが、切花専攻は、日替わりで学生2～3名に作業に参加してもらい、短縮営業中です。夏休み中の主な作業は、バラなど周年で収穫できる花やキクなどお盆向けの花の収穫ですが、ストックやハボタンなど晩秋から年末向けの花の定植もこの時期の大事な作業です。



露地圃場に定植したハボタンは、連日の猛暑のため、一部の苗が定植後すぐにしおれて枯れてしまいました。温室内に定植したストックは何とか大丈夫そうですが、根をしっかり張るまでは水をたっぷりとやらないとしおれてしまいそうです。

温暖化の影響を身近に感じる今日この頃です。



次作の定植に向けて育苗管理を実施中！

8月下旬以降の定植に向けてトマトやミニトマト、キュウリ、ナスのは種や接ぎ木などの育苗管理を行っています。前作のトマトは自根で栽培していましたが、次作はトマトの接ぎ木に挑戦しました。接ぎ木は少し高度な技術を要するため、学生たちはいつも以上に真剣なまなざしで丁寧に作業を行っていました。夏休み中は1年生のみで実習を行っていますが、育苗管理については大分慣れた様子で、着々と作業が進んでいます。



キャベツの定植始まる♪



今月から露地野菜専攻のキャベツの定植が始まりました。年内で合計9回定植を行う予定で、これから次々と植えていきます。今回、1年生は初めて定植機を使用したということもあり、慣れないながらも一生懸命植えていました。これから何度も機械を使う機会があり、2年生になるころには慣れた手つきになっていきます。一番初めに植えたキャベツは10月上旬には収穫できる予定です。

学生クラブ紹介

茶 道 部



部 員 数 15名
（男子6名 女子9名）
活動日時 水曜日 18:00～
活動場所 旧本館1階和室



こんにちは茶道部です！私たちは週に1回、外部講師の安藤宗艶先生をお呼びして稽古をしています。初心者ばかりなので、みんなで仲良く教えあっています。また、季節によって和菓子や花の種類が変わるので名前を覚えられるなど勉強になります。男女問わず、誰でも大歓迎です！

軽 音 楽 部



部 員 数 10名
活動日時 月曜日から金曜日まで
16:10～
活動場所 第6教室

軽音学部はギターやベース、ドラム、キーボード、ボーカルなどを練習してバンド活動をしている部活です。個人でも練習ができるので、それぞれの予定に合わせて自由に活動しています。農大祭では屋外ライブを行っていて、ライブが近づくたびに練習にも力が入ってきます。機材も一通り揃っていて、仲間から教わることもできるので初心者でも始めやすいですよ。

卓球部

部員数 6名
（男子6名）
活動日時 火曜日 18:00～
活動場所 体育館



こんにちは卓球部です。私たちは練習メニューを設定せず、好みに合わせて自由に楽しく練習をしています。自由な雰囲気ですが、5月に開催された東海近畿スポーツ大会では、団体準優勝、男子シングルス3位という成績も収めています。初心者の方でもラケットを貸し出しているので誰でも卓球を始められます。みんなで一緒に卓球を楽しみましょう！

フットサル部

部員数 17名
活動日時 水曜日 18:30～
活動場所 体育館



こんにちはフットサル部です。私たちは1年生と2年生も仲が良く、楽しい雰囲気です。練習やミニゲームを中心に、楽しみながらがモットーです。残念ながら東海近畿スポーツ大会ではフットサルの競技はありませんが、年に数回大会にも参加しています。初心者の方でも気軽に参加できるので、是非私たちと良い汗を流しましょう。

研修紹介

農 福 連 携 支 援 研 修

この研修は、障害者就労施設等の皆さんが野菜栽培の基礎を学び、①施設の利用者さんへ作業をわかりやすく伝えられるようになること、②施設の畑で野菜が栽培できるようになることを目指しています。

令和2年度に始まり、今年で4年目になりました。6月14日に開講、翌年1月19日までの8か月間にわたって28日間行います。



研修の内容は、実習と講義に加え、先進的に農福連携に取り組む施設の視察もします。

実習では、野菜栽培ほ場においてキュウリ、ピーマン、ナス、メロン、スイカ、サツマイモなどの春夏野菜、ハクサイ、ダイコン、ニンジン、チンゲンサイなどの秋冬野菜の農作業を体験します。



研修生は、播種、間引き、追肥、整枝、誘引などの栽培管理、収穫・調整から片づけ

まで一連の栽培管理を行います。春夏野菜は収穫を終えつつあり、今後は片付けと秋冬野菜の準備に入ります。



講義では、野菜作りに関する基礎知識（肥料、病害虫、土づくり、雑草防除）を始め、わかりやすく教える工夫、アグリジョブコーチ概論など農福連携に関することも学びます。

さらに、研修生各自が施設の畑の土を農業大学校へ持ち寄り、土壌分析も行います。

研修生の皆さんは、障害者就労施設の仕事をこなしながら、この長期研修を頑張って受講しています。



研修生の皆さんからの言葉（一部抜粋）

愛知県のホームページを見て申し込みました。実習が多いので、理解が深まります。講義は初めて聞くことばかりで参考になります。実際に自分が作業するときスムーズにできそうに感じています。

農業機械だけではなく、鍬など農具を使って人力でやることも教わりになりました。今まで自分の事業所でやっていたこととの違いがよく分かりました。イモ類やスイートコーンなど大変に理解しやすい講義でした。

これまでYoutubeでたくさんの動画を観て、野菜づくりでは迷いに迷っていましたが、講義と実習を受けたことで、やっと全てがまとまった気がしています。とてもありがたい内容です、感謝！

生き物を扱うので、失敗は許されないという思いが強いです。食べてばかりで作り手の方々への敬意が足りなかったことを痛感します。

農大まで通うのは遠いのですが、研修生の皆さんや先生とお会いすることはとても楽しいし、楽しみにしています。

暑さ寒さの中での農作業、あらためて農家さんの仕事の厳しさを知りました。農作物を育てるということは病害虫との闘いであることをつくづく思い知らされました。

農業の経験に関しては、まったく初めての人もいれば既に施設で取り組んでいる人まで様々です。皆さん和気あいあいと、楽しく前向きに取り組んでいます。一方で、積極的にコミュニケーションをとって人脈づくりに励む姿もみられ、研修が有意義なものとなっているのを感じます。

トピックス

オープンキャンパスを開催しました

6月3日から8月22日の期間で計5回、オープンキャンパスを開催し、390名もの学生及び保護者の方々にご参加いただきました。他県の遠方から来られた方や、複数回参加された方も含め、非常にたくさんの方にご来校いただきました。

天候にも恵まれ、学生の案内による校内キャンパスツアーは全ての回で実施することができ、熱心に説明を聞いたり質問するなど、本校にとっても興味を持った様子でした。

在校生が参加者からの質問に答える交流会では、専攻実習や授業の内容、クラブ活動、就職活動といったものから寮での生活やアルバイト先など様々な質問が飛び出し、自らの経験を踏まえて率直に（赤裸々に）回答していました。

その他、学生が作った農産物の販売やミニトマトやブドウの試食会、寮の食事体験など盛りだくさんの内容で、本校の雰囲気を十分に堪能できたと思います。

アンケート調査からも「学生が楽しく学んでいる姿に好感が持てた」、「キャンパスが広くてびっくりした」、「施設が綺麗で充実している」など高い評価をいただきました。



日進市農業委員会が視察研修に来校されました

8月7日（月）に日進市農業委員会16名が視察研修に来校されました。本校から教育部と企画研修部の概要を説明し、本校の取り組みを知っていただきました。

特に、①新規就農希望者向けの長期3研修「ニューファーマーズ研修」、「農業者育成支援研修」、「農業技術研修」、②「農福連携支援研修」、③農起業支援ステーションについて具体的に説明しました。

来年度、農福連携支援研修に日進市内の福祉関係者を研修させたいとの意見をいただきました。



OB紹介

農家になって頑張っている研修生OB

平成29年度農業技術研修（旧 雇用創出農業研修）受講生

高橋和希さん（幸田町夏秋なす部会） 年齢54歳
就農地 岡崎市内
栽培品目 露地ナス12a、スイートコーン3a、ブロッコリー10a
労働力 自家労力1人、パート4人

就農6年目



- きっかけは
飲食店経営とサラリーマンの夜勤勤務を経て、「やりがいのある仕事がしたい」、「家族との時間が欲しい」との思いから。
- 露地ナスを選んだ理由は
1株からたくさん収穫できることと、投資を抑えることできるから。
- 就農にあたって苦労したことは
農地がなかなか見つからなかった。結局、仲間から農地を貸してもらい就農スタート。
- 就農後の成果は
就農5年目の令和4年度に幸田町夏秋なす部会で単収1位。
- 現在研修中の皆さんへ
失敗することから学ぶので、失敗することを恐れない。農業は自分のやり方次第、農業を楽しみましょう。

令和2年度ニューファーマーズ研修受講生

鈴木翔太さん（JAひまわりいちご部会） 年齢32歳
就農地 豊川市内
栽培品目 いちご 19.4a
労働力 自家労力1人、常時雇用2人、臨時雇用1人

就農3年目



- きっかけは
農業関係の仕事をする中、農業経営に魅力を感じ、「地元へ貢献するような仕事がしたい」、「新たなチャレンジがしたい」との思いから。
- いちごを選んだ理由は
地元へ貢献（豊川市はいちご生産盛ん）でき、子供たちに喜んでもらえるから。
- 就農にあたって苦労したことは
ハウスの確保に苦労した。20a分のハウスを探すも、10aのいちごハウスは借りることができたが、他は、3年間利用されていなかったバラのハウス9aを借りて自家施工。
- 就農後の成果は
就農1年目で単収5.5トンとなり、部会の中で上位に。
※ただし、ガムシャラに働きすぎたので、ワークライフバランスを大切にしたい。
- 現在研修中の皆さんへ
後でやるのではなく、すぐに行動すること。一人では何もできないので、多くの人を巻き込み、相談し、行動することでやりたいことが実現できます。

お知らせ

愛知県立農業大学校

令和6年度 入学者選抜試験

●特別推薦入学試験

出願期間 9月12日(火)～9月15日(金)
試験日 9月29日(金)
合格発表 10月6日(金)
試験科目 面接試験
募集人員：20名程度



●一般推薦入学試験

出願期間 9月28日(木)～10月13日(金)
試験日 10月30日(月)
合格発表 11月10日(金)
試験科目 小論文（800字以内）、面接試験
募集人員：定員100名のうち2/3程度



●一般入学一次試験

出願期間 11月9日(木)～11月24日(金)
試験日 12月8日(金)
合格発表 12月20日(水)
試験科目 数学Ⅰ、小論文（800字以内）、面接試験
募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

・詳細は、本校ホームページを御覧ください